

盛夏の候、同窓生の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、本年も下記の通り「八戸工業大学同窓生の集う会」および各支部総会を開催いたします。多くの方々に集う会にご参加いただき、先生方や同級生・先輩後輩方々と交流・親睦を大いに深めていただければと考えております。皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加くださるよう心よりお待ちしております。



第16回 八戸工業大学同窓生の集う会

第17回「八戸工業大学同窓生の集う会」

日時：平成29年10月7日(土)18:30～
 会場：八戸グランドホテル 八戸市番町14 TEL 0178-46-1234
 会費：5,000円
 申込先：dosokai@hi-tech.ac.jp (同窓会本部事務局宛)
 締切：平成29年9月22日(金)
 参加申し込み

電子メールに参加会場、氏名、卒業学科、卒業年度、連絡先電話番号(ご存知の方は学籍番号もお願いします)を記載して同窓会本部事務局(dosokai@hi-tech.ac.jp)、またはそれぞれの支部申込先へお申し込みください。同封のフリーFAX用紙でもお申込みいただけます。

関東支部総会のご案内

日時：平成29年9月2日(土)17:00～
 会場：アルカディア市ヶ谷
 東京都千代田区九段北4-2-25
 TEL 03-3261-9921

会費：6,000円

- 平成28年度(29.3月)卒業生 無料
(但し、締切日以降は1,000円となります。)
 - 平成27年度(28.3月)卒業生 3,000円
 - 平成26年度(27.3月)卒業生 3,000円
 - 平成26年3月以前に卒業された女性 4,000円
- ただし、下記年度の卒業生の方の会費は以下のとおりとなります。

申込先：t.hirasawa007@gmail.com
 (関東支部事務局長 平澤亨宛)
 締切：平成29年8月25日(金)

東北支部総会のご案内

日時：平成29年10月21日(土)17:00～
 会場：ホテルレオパレス仙台
 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-6-28
 TEL 022-706-0001

会費：6,000円(新卒は半額の3,000円)

申込先：s.narasaka@eco-ls.co.jp
 (同窓会関東支部長 奈良坂進宛)
 締切：平成29年10月13日(金)

秋田支部総会のご案内

日時：平成29年10月21日(土)18:30～
 会場：協働大町ビル
 秋田市大町三丁目2-44
 TEL 018-863-2111

会費：5,000円

申込先：m-kikuchi@akita-sousin.or.jp
 (秋田支部幹事長 菊地雅敏宛)
 締切：平成29年10月13日(金)

北海道支部道南部会総会のご案内

日時：平成29年9月23日(土)18:00～
 会場：法華倶楽部函館
 函館市本町27番1号

会費：5,000円

申込先：h-yamamoto@yk-teito.co.jp
 (道南部会事務局長 山本浩道宛)
 締切：平成29年9月15日(月)

北海道支部道東部会総会のご案内

日時：平成29年11月18日(土)
 詳細は決定次第同窓会HPでお知らせします

※各同窓会とも大学から多数の教職員が参加する予定です。
 詳しくは同窓会HP (<http://alumni.hi-tech.ac.jp/>)にてご確認ください。
 未定情報や補足情報は随時大学同窓会HPでお知らせします。
 ※各支部同窓会への参加申し込みは、同窓会本部事務局 (dosokai@hi-tech.ac.jp)でも受け付けます。

八戸工業大学 同窓会 会報

Hi-Tech Alumni Association Journal

第23号
 8月発行

八戸工業大学
 同窓会本部事務局
 TEL:0178-25-8027
 FAX:0178-25-3827

印刷・編集 同窓会事務局

HAMS(メールマガジン)会員登録のご案内

登録手順1 仮登録
 普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。
hams@alumni.hi-tech.ac.jp
 登録手順2 本登録
 空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



平成28年度八戸工業大学同窓会事業報告及び収支決算報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

事業報告

〈本部〉

平成28年 6月25日 (土)	第1回理事会・定例代議員会
8月13日 (土)	二高同窓会納涼パーティー
10月 1日 (土)	第16回同窓生の集う会
11月14日 (月)	工大グループ同窓会連絡協議会
平成29年 3月21日 (火)	学位記授与式
21日 (火)	第2回理事会

〈支部〉

平成28年5月14日 (土)	関東支部幹事会
6月11日 (土)	関東支部役員会
8月27日 (土)	北海道支部総会
9月10日 (土)	関東支部総会
10月15日 (土)	秋田支部総会
22日 (土)	東北支部総会
22日 (土)	北海道道南部会総会
11月26日 (土)	関東支部役員会
12月17日 (土)	秋田支部役員会
平成29年3月 4日 (土)	北海道道東部会総会

〈分会〉

平成28年6月11日 (土)	(水交会)第1回水交会役員会
11日 (土)	(学匠会)第1回学匠会幹事会
17日 (金)	(土木建築)土木建築工学科同窓会合同会議
7月16日 (土)	(土木建築)土木・建築工学科設置40周年、同窓会設立35周年記念事業
16日 (土)	(水交会)藤田成隆前学長を囲む会
9月16日 (金)	(水交会)第2回水交会役員会
10月 1日 (土)	(水交会)水交会総会
1日 (土)	(土木建築)臨時役員会
8日 (土)	(うみねこ会)うみねこ会懇談会
平成29年2月21日 (火)	(うみねこ会)うみねこ会幹事会
24日 (金)	(土木建築)土木建築工学科同窓会拡大幹事会
3月 4日 (土)	(蒼峰会)蒼峰会役員会
19日 (日)	(土木建築)橋本典久先生を囲む会

決算報告

一般会計

収入の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
会費	4,800,000	5,060,000	260,000
会報協力費	600,000	533,390	△66,610
広告収入	180,000	60,000	△120,000
雑収入	10,691	4,695	△5,996
前年度繰越金	9,879,309	9,879,309	0
計	15,470,000	15,537,394	67,394

支出の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
会議費	200,000	121,611	78,389
旅費交通費	1,100,000	1,031,040	68,960
集う会経費	300,000	255,904	44,096
印刷費	2,900,000	2,498,200	401,800
通信費	50,000	47,064	2,936
支部関係	1,350,000	1,062,897	287,103
運営費関係	10,000	0	10,000
分会助成費関係	1,200,000	461,138	738,862
業務委託費	86,400	64,800	21,600
積立金	0	0	0
慶弔費関係	200,000	168,533	31,467
記念事業支援費	100,000	100,000	0
予備費	73,600	0	73,600
次年度活動費	7,900,000	9,726,207	△1,826,207
計	15,470,000	15,537,394	△67,394

次年度繰越金 9,726,207

特別会計

収入の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
当期積立金	0	0	0
前年度繰越金	20,000,000	20,000,000	0
計	20,000,000	20,000,000	0

平成28年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成29年5月23日

監事 夏堀 大司
監事 左館 直樹

八戸工業大学同窓会定例代議員会が六月十七日(土) 十六時から八戸グラウンドホテルで開催されました。昨年度の事業報告および今年度の予算、事業計画について話し合われました。議案としては次の通りです。

議案

第一号議案

平成二十八年度同窓会事業報告及び決算に関する件

第二号議案

平成二十九年度同窓会事業計画及び予算に関する件

第三号議案

第十七回「八戸工業大学同窓生の集う会」について

この場で、本年度の全学同窓生の集う会を十月七日(土)八戸グラウンドホテルで開催することが了承されました。また昨今の少子化の影響を受け、大学入学者も減少していることから、同窓会として大学存続のために協力できることを検討し、大学および同窓会の発展につながる活動をするために、役員が今以上に連絡を取り合って活動方針を明確に作り上げていくことが確認されました。

【役員名簿】

役職	氏名	卒業年度	卒業学科
会長	福士 信雄	昭和51年度	電気
副会長 <small>(同窓教職員会の会)</small>	淺利 能之	昭和51年度	電気
副会長	齊藤 克治	平成14年度	システム情報
理事	小玉 吉美	昭和50年度	機械
理事	岩本 明佳	昭和57年度	電気
理事	高橋 和雄	昭和55年度	建築
理事	原田 修	昭和60年度	エネルギー
理事	大坂 崇長	平成04年度	エネルギー
理事	石橋 宣貴	平成20年度	感性デザイン
理事	住吉 貴恵	平成21年度	感性デザイン
理事	田村 友宏	平成27年度	システム情報
理事 <small>(支部)</small>	奈良坂 進	昭和50年度	機械
理事 <small>(支部)</small>	西岡 邦夫	昭和54年度	産業機械
理事 <small>(支部)</small>	工藤 嘉範	昭和54年度	土木
理事 <small>(支部)</small>	古館 仁	平成10年度	機械
監事	左館 直樹	昭和57年度	機械
監事	夏堀 大司	昭和58年度	土木

新たな同窓会活動について

八戸工業大学 同窓会会長

福士 信雄

八戸工業大学同窓生の皆様、日頃より同窓会活動に御支援・御協力いただき心から感謝申し上げます。さて、申すまでもなく同窓会は「会員相互の親睦を図り、あわせて母校の発展に貢献することを目的」としており、同窓生の集う会・各支部総会の開催、同窓会報の発刊、表彰事業等々の事業を実施してまいりました。しかし、同窓会の目的の後半「母校の発展に貢献」部分が、これで充分なのか、もう少しできることがあるのではないかと感じる点がありました。そこで、何か新たな同窓会活動を模索したいと考え、昨年十一月三十日に、理事長と学長が会議で上京した折り、まずは同窓会として何かできるのか忌憚なく懇談する場を設けました。そこでは理事長・学長とも同窓会が母校の発展のために貢献することは有り難いことで、これまで以上に同窓会との連携を深めていきたいとのお話がありました。具体的には種々多岐にわたる話題が出たのですが、大きく括ると「学生の募集」「学生の就職」「学生の研究」「学生の課外活動」についての応援策となりました。この状況を、今年三月二十一日の第二回理事会で報告し、さらに五月一日の三役会議でたたき台となる具体案を纏め、五月二十二日に大学の入試課及び学生課と話し合いを持ちました。結びに、



蒼峰会活動報告

開会に先立ち、自己紹介と現況を報告していただき、新年度に向けて各支部への参加者の確認と今後の蒼峰会の在り方等を話し合いました。懇談の中、教育実習時の生徒と四十数年ぶりに再会という場面もあり、終了時間を過ぎて話も尽きず盛会でした。参加者；小玉会長・和田幹事長・千葉・成田・左館・尾形・松倉・川村・田村・夏堀・大黒先生・太田先生・寺井



平成二十年度
 機械情報技術学科卒業
 轟産業株式会社 八戸事務所
 夏堀 祐樹

大学を卒業して九年となります。大学生活がついこの前のように思えますが、時間の流れは早いなど感じる今日この頃です。私事で大変恐縮ですが、自己紹介と近況報告をさせて頂きます。私は青森県八戸市で産まれ育ち、平成二十年度に機械情報技術学科を卒業致しました。

卒業後は県内の会社に就職しました。装置の据付けで、中国、台湾に出張することが多く、現地法人の方や協力会社の人と仕事をするためには、コミュニケーションが改めて大事ななと感じました。海外での年越しなど、今思うとすごくいい経験をさせていただいたかと思っております。徐々に仕事に慣れてきたのですが、残念ながら、不況のため会社をやめることになりました。

そこから就職活動を行い、現在の轟産業株式会社に入社することになりました。就職活動中は大学時代の就職活動とは違う視点で行うことが出来たと思います。業界の今後の先行きや、景気状況、自分が志望している会社のお客様、仕入先、経営状況などを調べるようになりまし。大学時代よりも熱心に就職活動をした記憶があります。轟産業に入社する前に複数の企業からも内定を頂きましたが、八戸市で働きたいという気持ちが強くなり、内定をお断りした企業もあります。

轟産業本社は福井県で業種は商社となります。私の職種は営業です。販売部門では七千社の仕入れ先を持ち、一般的な商品からスキマ商品まで幅広い商品を取り揃えています。また、全国四十二カ所の営業拠点があり、各地で地域密着の営業を行っています。製作部門では、お客様のニーズに合わせてオーダーメイドで製作を行っています。また、自社ブランド「T・O・N・E」を持っており、ないものは創るを合言葉に研究開発に取り組んでいます。技術部門では、消防・配管・電気等の工事を行う設備工事部、商品販売後のメンテナンス・修理を行うサービス

ス課、システム開発を行うシステム課と幅広い仕事をしています。三つの部門が絡み合ってお客様のニーズを叶えています。販売部門では主に計測機器、産業用機械装置、理学機器等を取扱っております。各メーカーの代理店を行っております。基本的には転動がないことが轟産業に入社を決めた一つの理由でもあります。営業職ではありませんが、前職の経験を活かしております。実際に現場で使用していただいた、部材、計測器などを私のお客様に実際販売することがあります。使用した経験などをお客様にお伝えする事もあります。前職では社内以外の人もコミュニケーションを取ることも多かったのですが、現在の仕事ではメーカー（仕入先の方）の方、色々な業種、部署のお客様と携わります。コミュニケーションは非常に重要となります。前職での経験があれど、今までの営業職でも何とか対応が出来てい

ると思っております。しかし、営業を始めた最初の頃は、相手にされないこともありました。名前もなかなか覚えてもらえず苦労することもありました。夜遅くまで調べることが多かった。その中でもお客様から引き合いを頂き、お客様の仕様に合わせた製品を購入して頂いた時はすごく嬉しかったです。お客様に感謝されることも非常にやりがいがある仕事です。

現在、八戸事務所は営業三人の事務員が一人の合計四人です。社内全体でみると八戸事務所は会社に貢献が出来ていません。これから事務所発展の為に今以上にお客様に信頼される営業マンになるのはもちろん、常にお客様のニーズに合わせた商品の提供、提案できる営業マンを目指していきます。八戸工業大学の卒業生として恥ずかぬように活動して行きたいと思っております。

昭和55年3月に機械工学科・産業機械工学科を卒業した皆さん。来年10月、本部同窓会にあわせ八戸で同期会を計画しています。詳細は大学HP⇒同窓会⇒蒼峰会を見てください。(0178-25-8010)
 (発起人) 西岡邦夫(事務局) 千葉兼喜・和田諭

学匠会 活動報告

■近況報告



エネルギー工学科
平成八年三月卒業
海老川 誠

同窓会報誌に寄稿させていただくことになりました、エネルギー工学科第十一期卒業生の海老川です。「近況報告」ということで自分の勤め先、職務の内容や自分自身の近況を報告したいと思います。

思い起こせば大学へ入学した当時は、子供の頃に感じた「現代社会のエネルギーへの想い」を生かせる自分になろうと目指して勉学に励もうと考えていましたが、私にとってキャンパスライフそのものが、見るもの聞くもの全てが新鮮に映る場所だったことを今でもはっきりと覚えています。

さて、そんな私が果物好きの縁で、ミカンとバナナとパイナップル以外はなんでも採れる「果物の町」南部町役場に勤務するようになったのは二十一年前のことになりました。

平成八年四月に新採用として建設課に配属され、町として初めての下水道事業を手掛ける機会を与えられました。ここでは下水管工事や処理場建設などを六年間担当しました。

大学時代に学んだ基礎流体や流体機械学等が大いに役立つたほか、処理場で発生する汚泥物質に関しては熱工学やバイオ基礎等が基本設計や現場で生かされたことは私にとって大きな自信となりました。

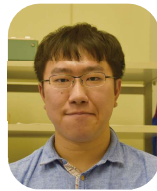
その後、総務課へ配属になり、消防・防災担当となつてからは十年近くを町の防災に力を尽くしてきました。その中でも、最も重要な位置付けとされる「南部町地域防災計画」を手掛けた際にも、地震・水害・原子力災害等様々な災害に対応するための防災計画を作

成するにあたって、各種力学、原子力工学等大学での知識が大きく役立ち、それらは事務職が主の役場であっても非常に有用な知識でありましたし、今でも私の業務の支えにもなっております。

職場には私の他に八戸工業大学の先輩方がいます。職務上の関係者にも多くの八戸大出身者がいます。そうした方々に日頃からお世話になっているほか、南部町も各種委員やアドバイザー等で様々な先生や職員の方に大変お世話になっております。

最後になりますが、私にとって大学時代に培ったことは、今でも有用であり多くの恩恵を受けています。今後もお世話になること多々あるかと思いますが、八戸工業大学の益々のご発展と共に皆様方のご活躍をご祈念申し上げ、私からの近況報告とさせていただきます。

■近況報告



生物環境化学工学科
平成二十四年三月卒業
久保田 真彦

同窓会誌に寄稿の機会を頂きました、二〇一二年に生物環境化学工学科を卒業した久保田でございます。最近の近況報告を依頼されましたので、現在在籍している会社等について御報告させていただきますと思います。

本大学卒業後、日本原燃分析株式会社に入社し、青森県六ヶ所村で業務を行っております。日本原燃分析株式会社は、日本原燃株式会社の一〇〇%出資の子会社で、再処理工場の関連工程から発生する様々な試料について分析・評価できる分析技能者を確保する目的で、平成二十年一月三十一日に設立されました。会社設立から十年目で、社員の平均年齢が二十九歳と若い社員が数多く在籍しております。主に二十四時間連続の三交替勤務体制で再処理の各工程から依頼される試料の分析および関連業務を行うとともに、分析技術者の養成・訓練、ガラス固化施設など部分的な工程の運

転業務請負等を業務内容としています。

入社してからは、約二年半交代勤務者として、再処理工場内のウランやプルトニウムなどの核物質分析等を担当しました。管理区域内で核物質を取り扱う為、グローブボックスやマスタースレーブマニピュレーター(MAN)を使った遠隔操作等で分析を行います。慣れるまでに時間がかかりました。また、分析手法が一〇〇種類以上もある為、先輩方から色々聞きながら覚えていきました。二〇一五年度からは日勤業務となり現在の配属部署では、交代勤務者のサポート業務や特殊対応分析、現場トラブル対応、現場業務改善活動、日本原燃担当者との業務調整等を行っております。

大学時代には、小比類巻研究室に所属し厳しい御指導の下、分析装置の取り扱いやデータのまとめ方、学会発表といった様々な経験をさせていただきました。特に人前で話す際のプレゼンテーションは学生時代に鍛えられたと思っており、管理職への説明や会社説明会等で活かすことができ、大変感謝しております。

今年で入社六年目となり、与えられる業務内容も難しく大変ではありますが、今まで以上に努力し、多くの知識を身に着け、経験をさらに積んでいきたいと考えております。また、仕事だけでなく、プライベートも充実させていきたいと思っております。

最後に、八戸工業大学の益々の発展と共に諸先生方卒業生の皆様の御活躍を祈念して結びの言葉とさせていただきます。ありがとうございます。



株式会社ザックス
http://www.zax.co.jp

理化学機器、放射線関連製品、試薬、I7-フォルカ、計量証明、化学工場及び研究施設の運転・保守、等

八戸営業所 八戸市亮市字新坂平 23-2
tel: 0178-73-3620

統括本社: 東通村 本社: 六ヶ所村
事業所: 弘前、青森、大間、八戸

うみねこ会 活動報告

■学科ニュース① 新任教員紹介

○小久保温教授



今年度から工学部システム情報工学科に勤めさせていただきます。出身は埼玉県で、学生時代の専攻は理論物理学でしたが、研究にコンピュータを利用しているうちにおもしろくなり、現在はMOEA（Meta-Optimization）の研究を専門にしています。近年はスマートフォン・アプリと言っても、その背後でMOEAアプリケーションが動いていて、なくてはならないものとなっています。学生のみなさんと新しいものを作っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

○三浦雅展准教授



はじめまして。出身は琵琶湖で有名な滋賀県です。関西弁ばかりを話すいわゆる関西人です。専門は音響情報処理、特に音楽や人が聴く音を情報処理技術によって研究しています。例えば音楽配信サービスのためのバックヤード技術の開発を企業と共に行なっています。これまででは音響エンジニアの養成だけでなく、多くのIT技術者を多数教育してきました。この八戸工業大でもこれまで以上に多くのIT技術者を養成したいと思っております。関西と東北はだいぶんと気候も文化も異なりますが、この八戸の素敵な風に吹かれながら、素晴らしい教職員と共に学生を指導させてもらうことに毎日喜びを感じている次第です。今後ともどうぞよろしくお願申し上げます。

■OB・OG近況報告

■学科ニュース② 栗原先生、高橋先生ご退職

平成二十八年度をもって、栗原伸夫先生と高橋良英先生がご退職されました。長い間、システム情報工学科を支えて下さってありがとうございました。

○田村 友宏（平成二十八年度卒業：（現）医療法人 謙昌会 総合リハビリ美保野病院）

現在私は、総合リハビリ美保野病院にて、事務局総務担当として働いています。入職してから一年が経ち、少しずつ業務にも医療系という専門的な部分にも慣れてはきましたが、まだ自身の理解不足や知識不足が目立つ状態です。上司の方々や同期の職員の力添えがあり、日々の業務をこなしています。



職場内では、IT関連機器の保守管理や緊急対応など様々な業務も行っていきます。

まだ対応しきれない面もありますが、八戸工業大学で学んだ知識や経験があったからこそ、数多くの場面や部署を越えて知識や技術を生かし、活躍できているのだと思います。また、各部署の職員とコミュニケーションをとり、現場での問題解決に努め予防措置や応急対応処置などを行い、復旧に努めています。この場面でもいまだ理解不足や知識不足が目立ちますが、上司よりご指導いただき、日々学び対応を行っております。

二年目に入り、今後はIT関連の専門知識を伸ばすだけではなく、職場や現場にて必要な知識をさらに深めることを目標とし、さらに努力して日々の業務を行っていきたいと思います。

○藤井 彩加（平成二十八年度卒業：株式会社IBCソフトウェア）

私は株式会社IBCソフトウェアで働いております。

最近まで健康診断の事務処理関係のシステム開発を担当していました。実際にお客様に合わせて開発すること、使用するプログラム言語など、何もかもが初めての経験で、先輩たちから時にやさしく、時に厳しい指導をいただきながら少しずつ仕事の仕方を覚えてきています。また、社内でのイベントの幹事を任せられるなど、仕事以外の面でも充実しています。現在も今年入社した新人と私の同期を中心にイベントを企画しているところです。仕事もそれ以外も含め今まで経験できなかったことをすることは緊張しますが、とても新鮮で、できるようになった時の達成感は一入です。これまで頑張ってきたのは皆さんのおかげだと思います。これからも一歩ずつ成長して目標を達成できるように頑張ります。



■第十五回うみねこ会開催案内

今年のシステム情報工学科同窓会「うみねこ会」は、「同窓生の集う会」を学園祭初日に行うため左記のように開催する予定です。昨年度と日程は変わってしまいましたが、毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加できますので、是非御参加ください。詳細は後日うみねこ会Webページなどでお知らせ致します。

開催日：平成二十九年九月十六日（土）

会場：八戸市内（予定）

参加予定教職員：武山泰、小坂谷壽一、藤岡与周、小玉成人、伊藤智也、山日康之、他多数

申し込み先：katsui@hi-tech.ac.jp

（うみねこ会会長 齊藤克治）

うみねこ会 URL

・ <http://alumni.hi-tech.ac.jp/umineko/>

感性デザイン同窓会 活動報告

感性デザイン同窓会活動報告

今年度からビジュアルデザインコース、住環境デザインコースに加えて、文化コミュニケーションコースが設置されて、ますます盛り上がりを見せているこの頃です。新任の先生も四名着任され、新しいメンバーとともに新年度がスタートしました。同窓会のみならず是非ご来学下さい。

新任教員のご紹介



卒業生の皆様、この四月から感性デザイン学部感性デザイン学科に勤務しております岩見と申します。出身は岩手県ですが、八戸に住み始めて半世紀近くになります。以前は青森県内の県立高校に勤めておりましたが、この度、大学の教育活動に携わることになりました。現在担当しているのは全学科共通の英語で、基礎教育研究センターも併任しております。これまでの高校での教職経験を活かし、学生たちの語力向上に少しでもお役に立てればと思っております。私は、地元の大変やりがいを感じております。直接携われることに、大変やりがいを感じております。座右の銘は「思考はグローバルに、行動はローカルに」。グローバル化が進む中、地方においてもこのような時代の流れに適切に対応できる人材の育成は急務と考えております。学生たちには、専門分野での学びを深めると同時に、社会との関わりの中で機能する英語力、多様な文化の人々とも対話できる力、地球規模で物事を考える力等を身に付けていっていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

河内良彰先生より



卒業生の皆様、四月から八戸工業大学感性デザイン学科に着任いたしました。山口県柳井市出身で、中央大学法学部から同公共政策大学院に進み、政治学と公共政策学を専攻し、修士課程で国土交通省が実施するグリー

ンツーリズム事業を調査し、その際に新聞取材を受けたことがきっかけで、修士課程修了後は新聞記者の道に進みました。読売新聞記者としての宮崎支局勤務の間に、ヨミダス歴史館の検索による取材経験も積みました。山形県では、大都市に通う大学生のアイデアを地域づくりに活かそうとするグリーンツーリズム事業を取材し、中山間地域の実態と地域活性化について理解を深めました。また、市町村の担当の施策に対する知見も得ました。その後、ひとつの地域課題について時間をかけて考察するべく、京都大学大学院経済学研究所博士後期課程に進み、現在は地域経済論や社会調査論、ネットワーク組織論などを研究しています。主たる担当科目は経済学ですが、これまでの経験を活かして新聞やテレビなど現代メディアの研究も進めています。学生たちが地域社会の再生と活性化に資する人材となれるよう、全力で教育研究に従事して参ります。

皆川俊平先生より



四月に新しく着任しました皆川と申します。これまで東京藝術大学と桜美林大学で非常勤講師として絵画や現代美術などの実技指導を行ってきました。出身は神奈川県ですが、東京藝術大学大学院博士後期課程に在学中であった二〇一一年、かつて足尾銅山のあった栃木県足尾町に移住しました。コンビニまで七、八キロ、スーパーまでは峠を超えて十五キロほどという山奥で、学校は一クラス五、六人、人口よりも猿や鹿などの野生動物の方が多岐地域でしたが、超高齢社会となった日本で、この状況は決して特別なものはありません。そこは私が二〇〇六年から行ってきたアートプロジェクトの現場でもあり、高齢者や子供たちのアイデアをアーティストとして支援するなどしてきました。八戸に移って来た夜、誰もいない小雪混じりの高速道路を抜けた時、それまでの夜の闇とは打って変わって煌びやかな光に溢れた八戸の街が、蒸気が上がる火力発電所や工場群を背景にして目の前に広がっていました。大学と地域を結びながら、この街がまだ失っていない熱量を継続させ広げていけるように、思い馳せ考えを巡らせています。卒業生のみならず、

どうぞお力添えをよろしくお願いたします。

東方悠平先生より



本年度より感性デザイン学科に着任いたしました。東方悠平（ひがしかた ゆへい）です。出身は北海道の札幌市です。専門は現代美術で、作品制作を行っています。美術作品の制作というと、油絵を描いたり石を彫ったりというイメージがあるかもしれませんが、それらも含めて、自身の関心や問題意識を、その時々に適した媒体（メディア）を用いて作品制作を行うことが現代美術であると考え、日々研究・制作を行っています。最初は北海道教育大学の美術科で金属工芸を専攻して、鍛金、鍍金、彫金といった日本の伝統的な金属工芸の技法を学びました。その後より自由な表現を求めて、筑波大学芸術研究科の総合造形コースの大学院に進み、現代美術の勉強を行いました。写真や映像、言葉や印刷物、インスタレーションやパフォーマンスやワークショップなど、一つのメディアに限定せず、その場所や人に応じて自在に作品を展開する面白さを知りました。特にワークショップなど、アートをを用いて参加者に気づきや学び、成長を促すような作品の制作も可能性に惹かれて、現在でも積極的に活動を行っています。これからもこうした活動は、地域と連携したアートプロジェクトや、子供などを対象とした造形ワークショップ等、学生たちとともに積極的に行っていきたくと考えています。

事務局だより

来年度より感性デザイン学部がリニューアルします。

来年度から感性デザイン学部、感性デザイン学科は創生デザイン学科という名称へ変更になり「地域づくりコース」が創設されます。「地域づくりコース」では、これまで通りのデザイン教育に加えて、住民や行政などの協創により課題解決の仕組みをデザインする人材を育成していきます。卒業生のみならず感性デザイン学部を引き続き応援して下さい。私たちがいつまでも皆さんをお待ちしています。近くにお寄りの際は顔を出して下さい。

同窓会ニュース

新任教職員紹介

平成二十九年度より、あらたに採用となりました教職員を紹介いたします。今後ともよろしくお願いたします。



島山 研
(基礎教育研究センター・助教)



三浦 雅展
(システム情報工学科・准教授)



岩見 一郎
(感性デザイン学科・教授)



小久保 温
(システム情報工学科・教授)



東方 悠平
(感性デザイン学科・講師)



皆川 俊平
(感性デザイン学科・講師)



河内 良彰
(感性デザイン学科・講師)



橋詰 豊
(土木建築工学科・講師)



高瀬 慎介
(土木建築工学科・講師)



平成三十年度学科名称変更となります

機械情報技術学科→機械工学科
電気電子システム学科→電気電子工学科
バイオ環境工学科→生命環境科学科
感性デザイン学科→創生デザイン学科

退職教職員

本年三月三十一日をもって、以下の教職員の方々が退職されました。長い間お疲れ様でした。

機械情報技術学科	教授	齋藤 正博
システム情報工学科	教授	栗原 伸夫
システム情報工学科	教授	高橋 良英
土木建築工学科	教授	岩村 典満
感性デザイン学科	教授	小田嶋 充久
感性デザイン学科	教授	水沼 和夫
感性デザイン学科	教授	高橋 康造
基礎教育研究センター	教授	渡辺 武秀
基礎教育研究センター	教授	齋藤 明宏
法人事務局総務課	主事	橋本由美子
法人事務局総務課	主事	戸賀沢 晃

同窓生減免制度等について

八戸工業大学では、同窓生のご子女・弟妹を対象として、入学金二十五万円を全額免除し、入学にかかる経済的負担の軽減を図っています。

また、入学時に採用する「八戸工業大学特待生制度（学業・スポーツ）」や入学後の成績等により採用する「八戸工業大学奨学生制度（同）」を実施し、保護者の皆様への経済的支援を行っています。

特待生制度 奨学生制度とも年額六〇万円（工学部特待生A・奨学生Aの場合、年額四〇万円（感性デザイン学部特待生A・奨学生Aの場合）が免除となり、四年間では工学部が最大二四〇万円、感性デザイン学部が一六〇万円、免除となります。

平成二十九年度入学試験での採用実績は、学業特待生・スポーツ特待生合わせて六十五名が採用され、現在、全学で特待生・奨学生一五二名が在籍しています。

詳細につきましては、大学ホームページや大学案内パンフレット等で確認いただき、是非、ご活用ください。ますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先・・・入試部入試課
電話 0120-85501276
(入試課直通フリーダイヤル)

☆同窓会報への広告募集について☆

同窓生では「同窓生の集う会」開催など各種事業を行っております。年に一度発行する同窓会報もその事業の一環であり、本会の活動内容や大学の近況等を発信するメディアとして、毎年多くの同窓生にご愛読されています。

一方で会報発行に係る経費（印刷および発送費）は同窓生数の増加とともに増え続けています。そこで、この経費の一部に皆様からの広告費収入を充当することにより、会報発行に係る経費削減を図りたいと思います。

つきましては、この同窓会報を継続的に発行していくためにも、経費ご多端の折とは存じますが、同窓会報への広告掲載についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 同窓会報第24号発行付月 平成30年8月中旬
2. 発行部数 約13,000部
3. 広告規格及び金額（カラー：白黒）
 - 1) 1コマ（約6cm×4cm）「¥30,000」→「10,000」
 - 2) 2コマ（約12cm×4cm）「¥60,000」→「20,000」
 - 3) 3コマ（約18cm×4cm） 応相談
- ※広告はページ下段部に3コマまで入れることができます。
4. 申込・問合せ先 八戸工業大学同窓会本部事務局
E-mail dosokai@hi-tech.ac.jp
5. 申込期限 平成30年6月1日（金）
6. 広告原稿提出期限 平成30年6月29日（金）
※料金が上記の通り変更になります。

学校法人
八戸工業大学

八戸工業大学 八戸工業大学第一高等学校
八戸工業大学第二高等学校 さくら幼稚園

〒039-1165 八戸市大字妙字大開 88-1
TEL 0178-25-3111（代表）

① 1コマ（約6cm×4cm）

地球温暖化対策・環境・エネルギーの

八戸工業大学

www.hi-tech.ac.jp/

〒039-1165 青森県八戸市大字妙字大開 88-1
TEL 0178-25-8000（入試課）

- 工学部
機械情報技術学科
電子知能システム学科
土木建築工学科
システム情報工学科
バイオ環境工学科
- 感性デザイン学部
感性デザイン学科

② 2コマ（約12cm×4cm）

同窓会事務局から

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用下さい）

本部事務局(学務部学生課)

TEL.0178-25-8027 E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp

機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科(機械情報技術学科事務局)
TEL.0178-25-8010 E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp

電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科(電気電子システム学科事務局)
TEL.0178-25-8020 E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp

土木建築工学科・土木工学科・環境建設工学科
建築工学科(土木建築工学科同窓会事務局)
TEL.0178-25-8076 E-mail:dosokai-d@hi-tech.ac.jp

エネルギー工学科・生物環境化学工学科(バイオ環境工学科事務局)
TEL.0178-25-8050 E-mail:dosokai-p@hi-tech.ac.jp

システム情報工学科(システム情報工学科事務局)
TEL.0178-25-8080 E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン学科(感性デザイン学科事務局)
TEL.0178-25-8070 E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付下さい。

同窓生の皆様へ

会報が届かない、見たことがないといった同窓生がありましたら、本部事務局まで、電話またはメールで送付先(氏名、現住所、学籍番号または卒業年科)を連絡するようお願い下さい。また現住所等変更になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

協賛金のお願い

平成14年3月に同窓会報第1号(創刊号)を発行以来、号を重ねて今回も約13,000名の会員にお届けすることができました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会本来の目的に叶っていくものと考えます。今後、会報発行を維持していくための費用として、皆様には協賛金のお願いをさせていただいております。協賛いただいた方のお名前を次号に掲載させていただきます。掲載をご希望されない方は、恐れ入りますが、本部事務局までご連絡ください。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりに頑張っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同封物の見方

1 あなたの整理番号です。

2 現在、住所が判らず会報誌をお届けできない方々です。ご存知の方は、情報をお寄せいただくか、フリーダイヤルまたはフリーFAXまでご本人よりご連絡いただけるようお願いいたします。

3 現在、同窓会でお預かりしているあなたの情報です。

変更のある方はいずれかをご利用下さい。

- ①フリーダイヤル
- ②フリーFAX
- ③QRコード(携帯電話)

4 協賛金の振り込み用紙です。コンビニまたは郵便局をご利用下さい。

協賛金の振り込み用紙です。ご協力をお願いします。

1 整理番号 35001001

2 住所未確認リスト

35001002 泉本 忍	35001031 成田 俊男	35003006 神 光好
35001008 藤野 暎昭	35001033 高橋 幸嗣	35003008 昆 考夫
35001010 木村 善智彦	35001034 前川原 守	35003009 神田 亮
35001011 佐藤 司	35001036 古川 潮太郎	35003011 工藤 次敏
35001016 佐々木 信司	35001038 岩井 考一	35003012 下斗米 一喜
35001021 國奥 秀夫	35001042 柳地 克夫	35003015 清川 均
35001022 山本 裕	35001044 島 和彦	35003016 木村 和夫
35001026 中村 則	35002003 兼子 宣彦	35003017 三浦 悟
35001029 大久保 定明	35002004 中屋敷 孝	35003018 藤田 健一
35001030 藤中 勉	35003002 大道寺 洋	35003019 千葉 忠志

3 FAX変更欄 (35001001 昭50-機械科-1期)

4 払込取扱票

001605 749893 2000

八戸工業大学同窓会

同窓 次郎 様

〒121-0831 東京都足立区人 3-11-26

整理番号 35001001

同窓 次郎 様

35001001

お問い合わせ

フリーダイヤル 0120-10-9899 (内線92) 平日10:00~17:00
フリーFAX 0120-10-9184 24時間受付